

第5回へそサポ定例会報告

〈内容〉

- ①7月案件振り返り
- ②へそサポ PR 活動について
- ③視察研修の振り返り
- ④へそサポ検討委員会からの報告
- ⑤その他



① 7月案件、8月案件について確認

- ・特に情報共有する点についてはあがらず、現行の支援について、現在のところ問題はないことを確認。

② へそサポのPR活動について

- ・広報の方法を検討したらどうか ⇒ 回覧板、広報紙等
- ・老人会やサロンに来られる方は元気な方。独居の方等本当に支援が必要な方は自宅におられる。
- ・民生委員とへそサポの活動を理解し合い、協力はしていくことはできないか・・
- ・へそサポ利用者は現在8名。どういうPRをして利用に繋がったのか？
縦の糸、横の糸の繋がりが大切。
(⇒最近はケアマネさんからの紹介が増えている事を紹介)
- ・これ以上利用者が増えたら、逆に担い手は対応できるだろうか？
- ・男性の担い手を増やすための方法も考える必要がある。
⇒ 口コミが大事
- ・買物代行もだが、自分で買いたいという方も多い。
⇒ ”すいれん“の利用者は”買物“に関しては、利用時に大地の家からの移動販売で買い物を楽しまれている。町内の高齢者の何割かはここで買物について課題解決できている可能性はある。

※上記の意見もふまえ、今年度のサポーター養成講座の募集の仕方等工夫が必要。(サポーターがいない地区、男性への呼びかけ等)



③ 視察研修の振り返り

- ・規模が小さくまとまりがあった
- ・西川登、武内町と、それぞれ熱心に取り組まれていることがよくわかった。
- ・地域により課題も異なり、それが支援内容に表れている。同じことはやれないが、参考にできるところは活かしたい。
- ・かんころの家は、元中学校という環境を活かし、地域の拠点として有効活用されていた。
- ・同じように取り組まれている状況が理解できた。自分たちの活動に反映できるところは活かしたいが、具体的には今は浮かばない。

※地域により同じ生活支援でも、ニーズは異なり、そこそこで必要な支援が行われている。班割での活動の仕方、広報のやり方等、参考になる部分は活かしながら、へそサポ活動の充実をめぐる。

④ その他

- ・検討委員会から、今後の定例会の内容の報告
*9月は認知症についての研修 ⇒ 欠席されているサポーターへの呼びかけ
*11月に小城市社協より、へそサポの視察に来られることの報告。お互いの学びに繋がれば…。

次回定例会は、9月10日(火) AM10:00 公民館2F 研修室